

育成を目指す資質・能力

- ・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解すること。【知識】
- ・健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うこと。【思考力、判断力、表現力等】
- ・健康な生活と疾病の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすること。【学びに向かう力、人間性等】

ICT活用のポイント

- ・科学的な根拠に基づく資料を配付することで、運動、食事、休養及び睡眠について、適切な学習方法を選択することができる。
- ・適切に資料を選べるようにウェブブラウザのURLを示すことで、多数の資料から調べ学習に必要な資料を容易に検索することができる。
- ・プレゼンテーションソフトを活用し情報を共有することで、自分と友達の提案を比較するとともに、その関連付けを考え、修正することで最終提案をつくることにつながる。

課題「A先生が健康な生活を送ることができるように改善策を提案しよう」
課題の集約と考えづくり

対話を基に、提案を再検討する

振り返りをする

事例の概要

- ・大型モニターやICT端末を活用し学習課題や活動の流れを提示することで、対話や考えを再構成する時間を生み出す。
- ・A先生の生活習慣のどこに課題があるのかを、表計算ソフトを活用して集約して、課題を焦点化する。
- ・ウェブブラウザで検索をして資料を選び、科学的な根拠を基に改善策を提案する。
- ・プレゼンテーションソフトを用いて生活習慣の改善策の提案を作成し、そのスライドを用いて情報交換をすることで、自分の提案を修正する活動を通して考えを深める。

【ICT活用の場面①】



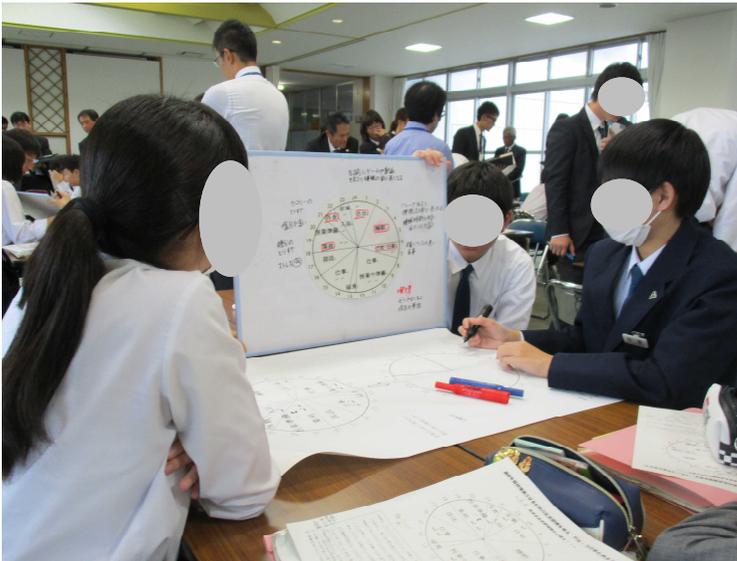
【ICT活用の場面①】

・学習課題や活動の流れを大型モニターやICT端末を用いて提示する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・複数の友達と同時に改善策を共有することができる。
- ・ICT端末を用いることで、提示物や資料を拡大して確認したり、自分のペースで確認することができる。
- ・短時間で学習課題の提示や学習の流れを示すことができ、対話や考えるための時間を生み出すことができる。

【ICT活用の場面②】



【ICT活用の場面②】

- ・科学的な根拠を基に作成した生活習慣の改善策を伝え合う。
- ・自分が作成した改善策を、情報交換を基に再構成する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・作成したスライドを容易に修正しながら自分の最終提案をつくることができる。
 - ・学習の振り返りを文書作成ソフトで蓄積することにより、生徒が考えの変容を見返したり、確認したりすることができる。
 - ・スライドを共有することで、教師は生徒の取組状況を確認することができる。
- ※写真では、ホワイトボードを活用しているが、ICT端末を活用するとグループ討議や意見の集約・共有を手元で行うことができる。

【活用したソフトや機能】

表計算ソフト ウェブブラウザ（検索機能） プレゼンテーションソフト
文書作成ソフト